

東北新報

本報創刊三十周年紀念
社址 仙台市大町二丁目
電話 二二二二
印刷 仙台市大町二丁目
電話 二二二二

社説

普通最初の町村會議員の政戦中ことに注目

普通最初の町村會議員の政戦中ことに注目。無産政黨各派の態度も、何名の議員を獲得するかといふことは大衆のひとしく知らんとすることであらう。常警に強力なる根を張つて悪戦苦闘した日本坑夫組合と支持する日本大衆黨もその後悲惨なる末路に終つた結果として、社會民衆黨と看板を塗り替へて仕舞つた警察を主力とする幹部派は、陰忍自重してゐる。

大衆黨の残留組員は、小田、古河二炭礦のみであつて、その勢力も殆んど昔日の面影すらも、片影すらも見ることが出来なくつた。

平町役場では来る七月四年度前期として賦課する特別税戸數割の爲めに去る九月から殆ど吏員繰出の形で五石城郡下の梨の名産地平窪千に近い各戸を訪問財産調査やその他に調査中錦各村の發育状態は極めてであるが、大體において一戸良好、虫害の程度も少く今當り平均は前期と大差なきを盛りと咲きこの儘順況のもの、如くであるもたゞ他す、まば五十萬貫の生産は町村への轉居者が割合増加してゐるのでこの方が振當てをどうするかは頗る頭を悩ますものと見られてゐる。

他町村へ轉居者が非常に増加

戸數割調査で發見

平町頭をナヤます

平町役場では来る七月四年度前期として賦課する特別税戸數割の爲めに去る九月から殆ど吏員繰出の形で五石城郡下の梨の名産地平窪千に近い各戸を訪問財産調査やその他に調査中錦各村の發育状態は極めてであるが、大體において一戸良好、虫害の程度も少く今當り平均は前期と大差なきを盛りと咲きこの儘順況のもの、如くであるもたゞ他す、まば五十萬貫の生産は町村への轉居者が割合増加してゐるのでこの方が振當てをどうするかは頗る頭を悩ますものと見られてゐる。

郡下の梨

結實は順調

石城郡田人組合村における郵便物は荷落夫局の配下に於ては集配せられてゐるが、田人に遠く勿來局より迂廻する不便の地にあり郵便物の運着甚だしく殊に小包書留貯金爲替等に至つては、一里餘の山坂を越

田人村に郵便局を

村長遞相に陳情

石城郡田人組合村における郵便物は荷落夫局の配下に於ては集配せられてゐるが、田人に遠く勿來局より迂廻する不便の地にあり郵便物の運着甚だしく殊に小包書留貯金爲替等に至つては、一里餘の山坂を越

郡南方部の苗代に奇病發生

農會で研究中大が農村では死活問題

石城郡南方部の苗代にこのへて用を辨する有様なれば程突然不思議な奇病が發生同村に郵便取扱所を設置し郡農會より技師急遽出張すべく過般村會の決議を経あらためる等

二十三、四日頃に大霜があるらしい

養蠶家は注意すべし

小名濱測候所談

小名濱測候所においては最の模様であることであるがこと無一文で平町彌宜町料理近の氣象觀測の結果来る本日は明治四十五年五月の大店安齋利助方に至り十四日二十日ころから晩霜の警かう霜と同一氣象で養蠶家餘りを遊興した上二階より戒が必要であり同日二十三日の他に對して相當に大きき逃走した事發覺十二日平署から翌二十四日の兩日降霜の被害を及ぼすことであら

名乗りを挙げた平町議の各候補(三)

色々の變り種

北目胡摩澤から推されて中原の鹿を逐ふ同君は十五區長として、つとに知られてゐる人である。同君は實弟の平町役場書記花澤文庫中尉と共に日清、日露の兩せんに武勇

立候補者

- 宇佐美友二郎 (中)
- 野崎 滿藏 (民)
- 馬目 雅治 (民)
- 柳下 元吉 (民)
- 吉田 寅三郎 (政)
- 石山 治三郎 (政)
- 根本 品藏 (政)
- 吉田 五平 (民)
- 吉村 安次郎 (民)
- 千葉 彦治 (中)

筆洗ふ前に

立候補に於ける立候補者の提出者は左の如し

若者の無錢飲食

石城郡箕輪村居住炭礦夫馬

上賢一(二五)は友人一名を以て平町彌宜町料理近の氣象觀測の結果来る本日は明治四十五年五月の大店安齋利助方に至り十四日二十日ころから晩霜の警かう霜と同一氣象で養蠶家餘りを遊興した上二階より戒が必要であり同日二十三日の他に對して相當に大きき逃走した事發覺十二日平署から翌二十四日の兩日降霜の被害を及ぼすことであら

名乗りを挙げた平町議の各候補(三)

色々の變り種

北目胡摩澤から推されて中原の鹿を逐ふ同君は十五區長として、つとに知られてゐる人である。同君は實弟の平町役場書記花澤文庫中尉と共に日清、日露の兩せんに武勇

